

車椅子・アイマスク体験

防府市社会福祉協議会の3名の指導員さんと西浦地区の社会福祉協議会委員の皆様にお手伝いいただき、4年生が車椅子・アイマスク体験を行いました。はじめに指導員の方から「福祉とは『ふだんのくらしのしあわせ』のことで、社会福祉協議会とは『だれもが安心して明るく、楽しくくらしが出来る町作りを考えるとこ』という話がありました。お年寄りや障害をもっている方も含め、みんなが楽しくくらしが出来るためには、声をかけあい、助け合うことが大切だということ子どもたちは学びました。



車椅子の動かし方、段差や坂道での介助の仕方、声かけの大切さなどを体験を通して学びました。何より体験する子どもたちを優しく見守ってくださる地域の方の温かさ、子どもたちはきっと忘れないでしょう。